

北海道浮魚ニュース

平成 15(2003)年度 15 号 (通巻 No.157)

2003 年 9 月 8 日

北海道立水産試験場

ホームページ : http://www.fishexp.pref.hokkaido.jp/ukiuo/uki_index.htm

道北～道央日本海スルメイカ調査結果

スルメイカ 分布密度やや低く、大型少ない

おやしお丸(中央水産試験場所属)で行ったスルメイカ調査の結果をお知らせします。

調査期間 : 2003 年 8 月 27 日～9 月 4 日

調査海域 : 道北～道央日本海

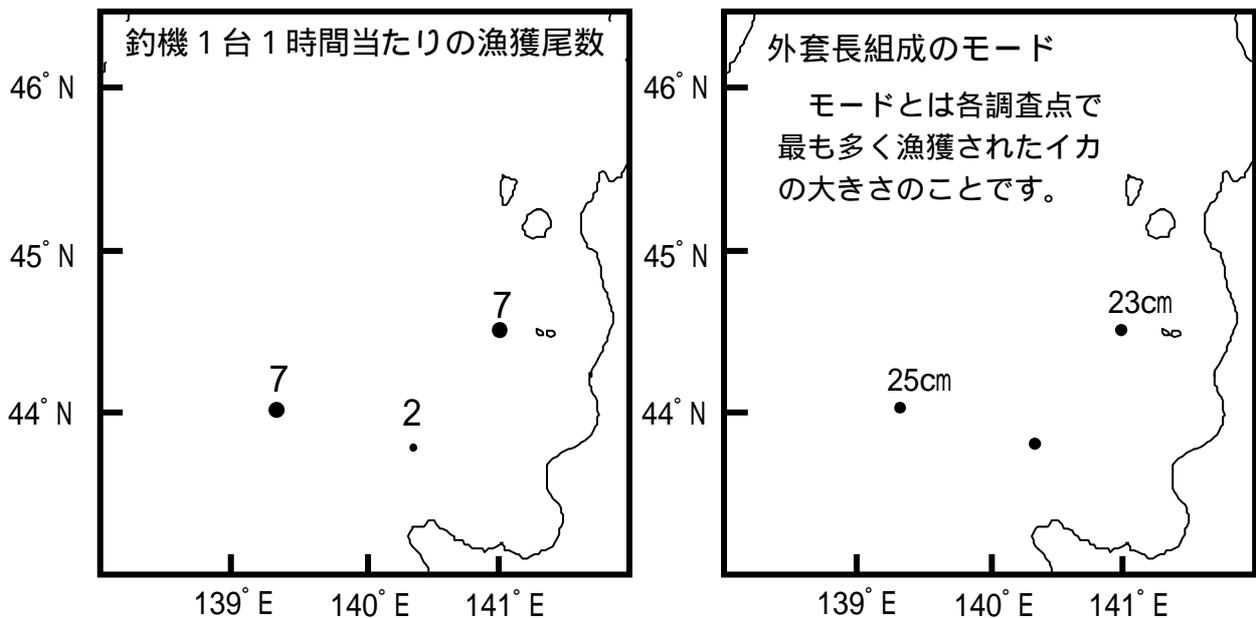


図 1 道西日本海におけるスルメイカの分布密度と大きさ (注 : 一部未測定)

スルメイカの分布密度と大きさ

スルメイカの分布密度 (CPUE : 自動いか釣機 1 台 1 時間当たりの漁獲尾数) は 2～7 でした (図 1 左側)。

調査海域全体の分布密度を示す平均 CPUE は 5 で、近年では低くなっていました (図 2)。

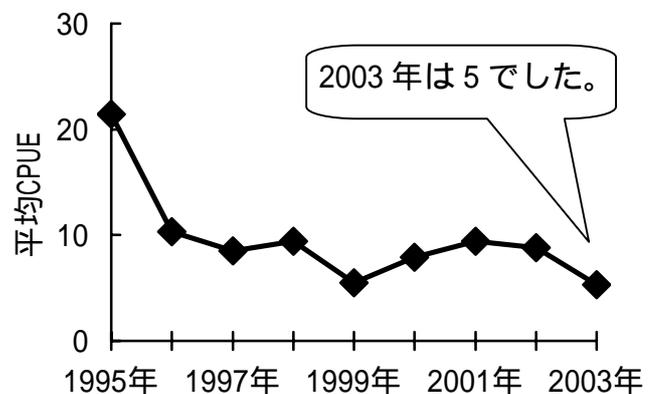


図 2 平均 CPUE の経年変化

スルメイカの大きさは、外套長組成のモードが沖合で 25cm と大きく、沿岸で 23cm と小さくなっていました（図 1 右側）。調査海域全体でも 23～25cm が多く、過去 2 年より大型のイカが少なくなっていました（図 3）。

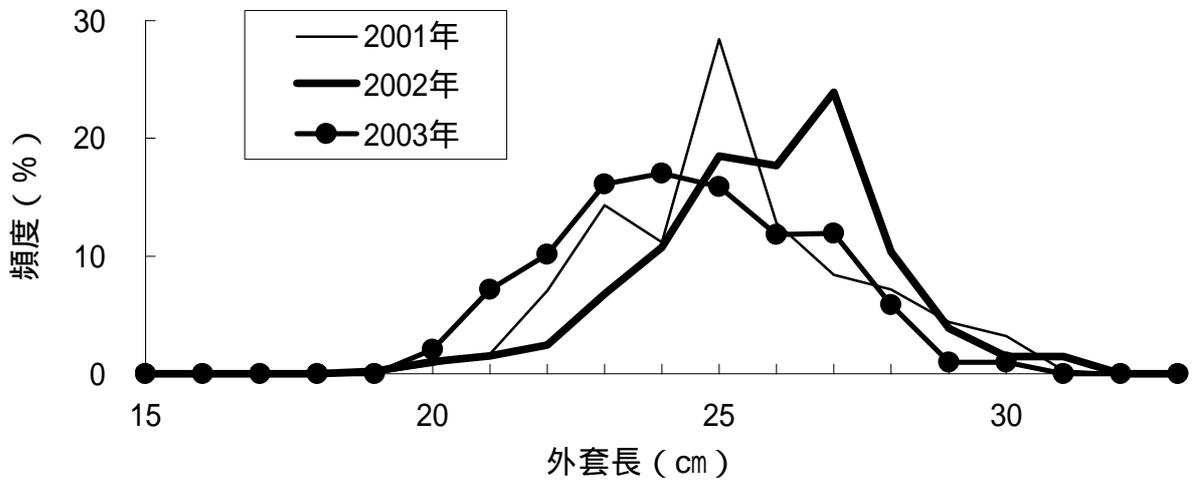


図 3 調査海域全体の外套長組成

水温分布

調査海域の 50m 深水温は、4～13 台でした。天売、焼尻島の付近で 14～15 台と高く、西方沖合に行くにつれて 4 台まで低くなっていました（図 4）。

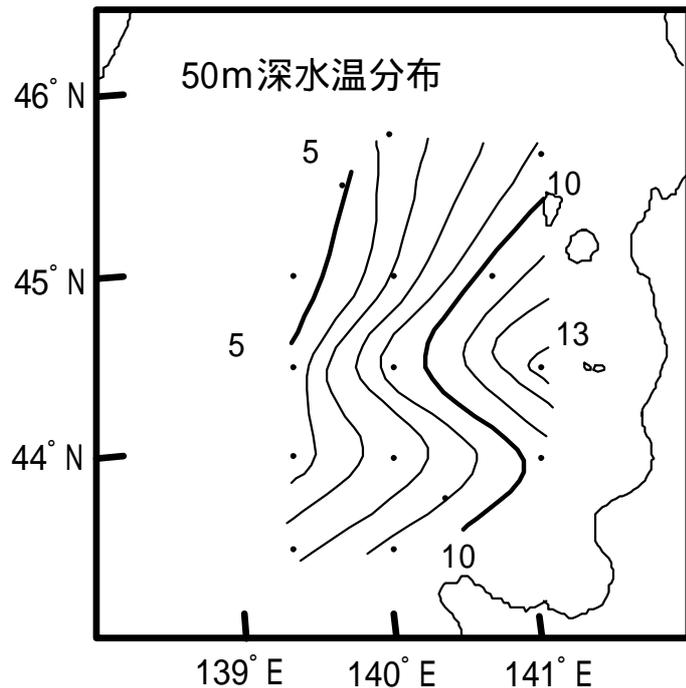


図 4 8 月下旬～9 月上旬の 50m 深水温分布

（文責：中央水産試験場資源管理部、TEL:0135-23-8707、FAX:0135-23-8709）